

《文化部門 研究活動》

文化フォーラム 2022 「歴史と街」 4 回

▲第 1 回 福山城と城下町の形成

- ① 日程 10 月 8 日（土） 14:00～16:00 社会連携推進センター 9 F ホール
- ② 講師 三浦正幸氏（広島大学名誉教授）
- ③ 参加者 40 名 学生 5 名
- ④ 参加者の感想から福山城築城 400 年記念の思い出につながる良いテーマでした。タイムリーに貴重な公演を拝聴し、さらに福山城への興味が深まりました。福山を離れている級友にも福山城の見学を薦めた。自分の故郷への愛着が深まりました。



▲第 2 回 古代瀬戸内海の国際交流 ―平安時代を中心に

- ① 日程 11 月 6 日（日） 14:00～16:00 社会連携推進センター 3 F 301
- ② 講師 古内 絵里子（本学講師）
- ③ 参加者 22 名 ※市内高校の進路指導部の教員 1 名の参加。
- ④ 参加者の感想から

中高時代を福山市で過ごしましたが、「草戸千軒町」の事を良く知りませんでした。瀬戸内海航路として成立して行ったこと、日本の各地へ運ばれた物や人を通して文化が生まれた事が、分かりやすく講義され良かった、草戸千軒の事も興味深かった。

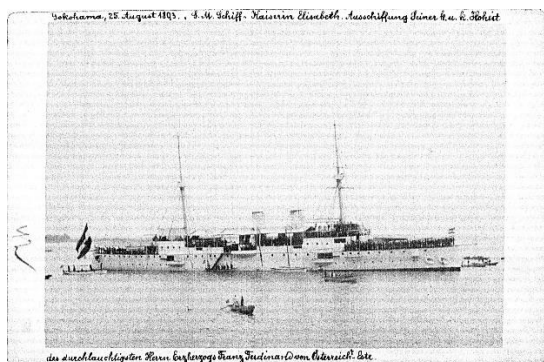


▲第 3 回 フランツ・フェルディナントの訪日 ―日本＝ハプスブルク関係史の視角から

- ① 日程 11 月 19 日（土） 14:00～16:00 社会連携推進センター 3 F 301
- ② 講師 村上 亮（本学准教授）
- ③ 参加者 11 名 学生 1 名

④ 参加者の感想から

日本とハプスブルグ関係史の視覚というテーマは新たな捉え方で、世界史・日本史という分け方に現れない広がりを感じた。高校生の「歴史総合」の学びにとってもインパクトがあると思いました。



ハプスブルク帝国の皇位継承者フランツ・フェルディナント大公が訪日した際の軍艦

▲第4回 神辺本陣と神辺宿

- ① 日程 12月3日(土) 14:00~16:00 社会連携推進センター5F 505
- ② 講師 柳川真由美(本学准教授)・山口佳巳氏(比治山大学講師)
- ③ 参加者 34名 学生2名
- ④ 参加者の感想から

神辺が宿場町として繁栄していたと従来から聞かされていたが、今一つ納得できなかったが、柳川先生の話しでやっとイメージできた。従来の歴史の見方が変わり、大変有意義でした。建築物にいろいろな工夫があることが山口先生のお話でよく分かった。先人の共通のこだわりを感じた。



※文化フォーラム全体の企画について、「毎年テーマが設定されていて興味深い。」との感想があった。